

『労働社会学研究』第22号の原稿募集について

『労働社会学研究』編集委員会

『労働社会学研究』第22号の原稿を募集します。刊行スケジュールは以下の通りです。

投稿希望書提出締切	2021年5月25日（当日受信有効）
原稿提出締切	2021年6月25日（当日受信有効）
発行予定（J-Stage掲載）	2022年2月下旬（予定）

※J-Stageへの「公開日」をもって、本号「発行日」とします（投稿規定の改定事項）。

投稿を希望される方は、まず、**投稿希望書**（「備考1」参照）を編集委員会宛にお送りください。

会員の皆様方は、実態調査に基づく論文・研究ノート（原稿分量は16,000～32,000字 ※本号より字数が変更となります（投稿規定の改定事項））をふるってお寄せください。投稿にあたっては、既刊の『労働社会学研究』を参考にするとともに、「投稿規定」「二重投稿に関するチェックリスト」「確認事項」及びそれらについての補足（「備考2」参照）を熟読されるようお願いいたします。なお、「投稿規定」は一部改定しておりますので（2021年3月幹事会決定）、ご注意ください。

本雑誌は、若手の会員に限らず、日本労働社会学会のすべての会員の皆様に広く開かれた雑誌です。会員の皆様方の意欲的な実証研究の投稿をお待ちしています。

また、本雑誌は第15号から電子化され、インターネット上で論文全文が閲覧可能な形式となっています。さらに第18号以降はJ-Stageに掲載されており、バックナンバーについても順次掲載しています。

日本労働社会学会では、会員の皆様に研究例会での報告の機会を提供いたしております。研究会での報告は投稿にあたっての義務ではありませんが、研究会を通じて有意義なコメントが得られるものと期待されますので、可能な方はぜひ研究会で報告していただきたいと思っております。

備考1：投稿希望書について

投稿を希望される方は、以下の(1)～(7)の内容をメール本文に記載し、**5月25日**までに、『労働社会学研究』編集委員会・高島（htakashima@nayoro.ac.jp）宛にお送りください。

- (1) 氏名
- (2) 連絡先（郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）
- (3) 所属機関・職名（※大学院生の場合、修士課程・博士課程の別、学年など）
- (4) 論文・研究ノートの別
- (5) 論文の題目
- (6) 論文の概略
- (7) その他、編集委員会への質問等があれば、お書きください。

備考2：「投稿規定」「二重投稿に関するチェックリスト」「確認事項」についての補足

- ・提出原稿のフォーマットは、A4用紙、上下左右25mm余白、10.5ポイント、40行×40字とします。
- ・「投稿規定」12項の「エントリー、および投稿希望記載事項を送信」は、「投稿希望書を提出」と読み替えてください。
- ・「投稿規定」15項は、投稿希望書の提出を指しています。
- ・「投稿規定」16項は適用しません。投稿に際しては、「二重投稿に関するチェックリスト」を熟読のうえ、原稿提出時に「二重投稿チェック同意書」を併せてご提出ください。
- ・投稿希望書に、論文・研究ノートの区別を書きいただきますが、「確認事項」にありますように、最終的には、審査の過程を経て編集委員会が判断します。

以上